



銚子ジオパーク推進 市民の会ニュース

第72号
2017年7月27日

連絡先 茂木
TEL 09089472869
http://choshi-geopark.com/

親子で夏の自由研究ツアー始まる

萩野 静也

親子で夏の自由研究ツアーの第一弾として7月21日「夏休みの天気図日記」が開催されました。この講座には、生徒19名、保護者17名の方が参加され、そのお住まいは、銚子市を含め4市1町の広い範囲にわたりました。

夏休みの天気図日記

この研究ツアーは、銚子ジオパーク協議会事務局の山田さんをチーフにして、市民の会からは、宮内秀さん、宮内敏さん、小玉さん、新井野さんと私が、サポートしました。

午前中の山田さんの講義は、天気予報の歴史や「気圧とは」など、さらに、天気図を描くための予備知識の話でした。子ども達は、熱心にメモをとりながら話を聞いていたのが印象的でした。

実際の天気図作成の実習は、宮内敏さんが作図した天気図のポイントを、宮内秀さんが黒板を使ってわかりやすく説明しました。そのためでしょうか、最終的にはほとんどの子とも達が、天気図の完成にこぎ着けたようでした。

午後からは、銚子地方気象台を訪ね、台員の方から風や雨などによる気象災害に備えるための話を聞き、その後露場にて、温度計や雨量計などを見ました。さらに、天気予報などの仕事をしている部屋を見



銚子地方気象台で雨量計の説明

学する予定でしたが、緊急事態になりそうとのことで部屋の中には入れず、遠くからその作業状況を眺めることになりました。残念。その後文化会館にもどり、夏休みの宿題のまとめ方などを学び、この日の講義を終了しました。最後に子ども達から天気図の作成を夏休みの自由研究にしたいとの感想があり、今回の研究ツアーに興味を持ってもらえたことが、心強く感じました。

海藻押し葉を作ろう！

藤本 京子

7月22日、15組30名（市内2家庭、あとは近隣からの参加者）が海鹿島丸山の磯に集合。かんかん照りながら海風が心地よく、今までになく潮が引いていて海藻採集には絶好の日よりでした。

岩礁が遠くまであらわれ、遠くの大きな岩が海面近くで露って見え、幻想的な光景の中、子供たちはもちろん、大人も海にジャブジャブ入り海藻採り。ところが、多くの子が海の生きものに夢中になり岩の間に住む平べったいカニ、いろいろなアメフラシの仲間、クモヒトデ等々「きてれつな生き物」を見つけては、糟谷先生に見せに来る。先生は海のおいきものにも詳しく、「ウニは海藻を食べ、ヒトデがウニを食べちゃうよ」「アメフラシは貝の仲間。これはまだ外側に貝が残っている仲間だよ」と大忙し。

押し葉に重しをのせ乾燥、ラベルを貼って完成。どんな標本集になるのかな？
今年には海藻アートも出現。台紙にいろいろな海藻を生け花風に置いたり、イラストを書きこんだりと楽しんでいろいろの楽しみがある。いろいろの楽しみがある。いろいろの楽しみがある。いろいろの楽しみがある。



今月の俳句

黄花咲き 待宵草や 浜の夕
松家 英彦

一時間半の採集もあっという間で「海の生き物は持って帰っても死